



道(どう)

学校長 田邊正彦

間もなく梅雨の季節となります。保護者の皆様、地域の皆様、湿気が多く、気温の変化も激しいこの時期、体調管理が難しいことと思います。どうぞお体には十分お気を付けてください。

子どもたちは、校外学習(1年遠足、2年自然教室、3年修学旅行)も終え、この後タイトな日程ですが6月初旬には、体育祭、そして6月テスト(定期テスト)を予定しております。

さて、日本には「〇〇道(どう)」と呼ばれる文化が数多く存在します。茶道、華道、香道、書道などは、中国から伝えられた文化に日本独自の美意識や精神性が加わり、発展してきた伝統文化です。また、剣道や柔道、弓道、空手道といった武道も同様に、“道”としての精神性を備えています。(一部のみの紹介である点をご容赦ください)

一方で、専門家であるかどうかにかかわらず、自身の興味を極端なまでに突き詰めることそのものに価値を見だし、たとえ実用性がなくても構わないとする、ユニークな“道”が存在します。実際に正式な“道”として確立されているかは別として、たとえばラーメン道やサウナ道、トレ道など、少し変わった視点から物事を極める意味で“道”と称される例があると聞きます。トイレ道は、「そんなの あるの?」と思うかもしれませんが、よく考えると実に奥が深いのです。「清潔さを保つ技術」や「快適に過ごすための工夫」、さらには「どのタイミングで行くか」という自己管理に至るまで、一度ハマると止めどなく探求心が掻き立てられるのではないのでしょうか。「いやいやそんな(苦笑)」と思う方もおられるかもしれませんが、極める側にとっては、そこに一種の哲学を見いだすものなのです。こだわりを追い続けるその姿こそ、気づけば人生をより面白くしているのだと思います。

何かに真剣に打ち込むことで、その過程で得られるものは技術だけではありません。謙虚さや忍耐力、そして他者を尊重する心が自然と育まれていくのだと思います。書道の一筆一筆に心を込めるように、トイレの便器に座り自分と向き合うように、それぞれの“道”にはその人なりの成長のプロセスがあるのだと思います。

こう考えると、人間の成長に必要なのは「何を極めるか」ではなく、「どう極めるか」なのかもしれません。教室の掃除であっても、真剣に向き合えば確かな学びがあります。それがラーメンであろうとサウナであろうと、“道”は“道”なのです。「極めた先に見えるのは、物事ではなく自分自身」であるというのも、あながち誇張ではないように思います。

あなたが極めたいと思う“道”は、何ですか。

併設型小中一貫教育について②

旭中学校と中沢小学校は、併設型小中一貫教育を推進しております。

その中で「併設型一貫校のメリットは何ですか」と言うご質問を受けることがあります。併設型小中一貫教育の特長は、日常の教育活動を通して中沢小学校と旭中学校が具体的に連携している点にあります。旭中ブロックでは、独自教科の「地域・防災科」の実施や中学校教員による小学校英語の指導、児童生徒の交流活動などを行っています。また、授業の進め方を小学校・中学校で共通化した「共通授業コンセプト」に基づき、授業を展開しています。そのための教職員の研修を年に複数回行っています。子ども一人ひとりの学びや成長を継続的に支えています。高校等の受験に向けた特別な制度ではなく、学びの土台を丁寧に育てることを大切にしています。

1 学年PAAを終えて

1年生は、4月27日（月）にPAA体験学習に行ってきました。PAAとは、「プロジェクト あしがらアドベンチャー21」のことを言います。

中学校に慣れてきた1年生はこれからの学校生活に向けて、クラスの仲間とどんなふうに協力していけばよいのか、さまざまなレクリエーションを通して学ぶ行事です。感想にみられるように、実際に多くのことを学んだようです。この経験をよりよい学校生活につなげていけるとよいですね。

～ 生徒たちの振り返りより ～

最初はどれもむずかしくてできる気がしなかったけど、やっていくうちに声かけやポジティブな発言が増えてやりやすくなっていった。一人ひとりのやる姿勢や気の持ちようが周りの人のやる気につながっていくのを実感した。これからは自分が周りに良い影響をあたえていきたい。

PAAで普段あまり話さない人とも話したり、「聴く」や「本気」を大切にできました。この団結力や「本気」などを体育祭や文化発表会、普段の生活に生かしていけるといいなと思いました。

PAAを通して、クラスメイトやファシリテーターとの仲がとても深まった。最初はミスを責めたりしていたけど、励まし合ったりして成功することができ、とてもうれしかった。このチームワークを生かして、これからの学校生活を楽しみたいと思う。

ぼくは、みんなと協力するときに、今までは男女で壁があったけど、PAAで男女関係なく協力してみるとすごくうまくいったので、これからは男女関係なく協力したいです。

氏名や写真は、
個人情報により
掲載しません

氏名や写真は、
個人情報により
掲載しません

氏名や写真は、
個人情報により
掲載しません

2年生 自然教室 【長野県飯山市戸狩】 R8.5.19～5.21

僕たち緑学年2年生は、5月19日～21日の2泊3日で長野県飯山市戸狩に自然教室へ行ってきました。神奈川県とは違う空気で、神奈川ではできない様々な体験ができました。

バスが出発してから5時間ほどで戸狩に到着しましたが、各バスのレク係のおかげで5時間も乗っていたのかと疑問に思ってしまうほど楽しい時間でした。

日差しの強い晴天の中、広場で入村式が行われました。初めて戸狩の方々と顔を合わせ、ワクワクする気持ちの中にも緊張感がありました。

氏名や写真は、
個人情報により
掲載しません

1日目は、全員が田植え体験を行いました。田植え体験では、初めて泥に入る人も多く、笑顔あふれる体験でした。箸づくりでは、竹をナイフで削り、やすりをかけて自分だけの箸を作りました。削る時の力加減が難しく、工夫が必要でした。

夜にはBBQや星空観察などを行い、宿の方との仲を深めることができました。BBQの火のように熱くなった心を落ち着かせ、消灯時間となりました。

2日目は、クラスごとにカヌー体験を行いました。二人で息を合わせないと違う方向に進んでしまったり、ぶつかったりする班もありました。仲間と息を合わせる大切さが学びました。

カヌー体験が終わると班ごとの活動になり、雪遊び、ハイキング、泥団子づくりなどを行いました。

3日目は、朝からジャムづくりを行い、特別なお土産が増えました。戸狩での時間は過ぎるのが早く、濃い時間を過ごした宿に別れを告げ、ホールへ退村式に向かいました。

3日間関わって下さった方々、大自然や全てに感謝をし、バスが出発して、手を振る中にも笑顔や涙などたくさんの感情がいっぱいに広がりました。

氏名や写真は、
個人情報により
掲載しません

この戸狩での3日間で感じたことが3つあります。

1つ目は、自然とふれあうことの大切さです。僕たちはデジタルで便利な生活が当たり前の世界で生きていますが、たった3日間でもそこから離れることで自分達の生活を見つめ直すことが出来ました。自然のもつ力や素晴らしさに気付くことが出来ました。

2つ目は、新しい環境を楽しむことです。僕たちは小中9年間ほぼ同じ環境ですが、新しい人と関わることで人の素晴らしさに気付き、新しい絆を育むことが出来ました。

3つ目は、物や人への感謝です。田植えや箸作りを通して、いつも僕たちが食べたり使ったりしている物に、人の「思い」や「工夫」が込められていることを実感することが出来ました。

僕が感じたことは大きくこの3つですが、参加したみんなもこの出会いや体験を通して多くのことを感じ、学びとったと思います。この特別な3日間を大切に、思いやりのある最高の緑学年を築いていきましょう。

支えてくださった戸狩の方々、保護者の方々、先生方、本当にありがとうございました！！

(自然教室実行委員長)

氏名や写真は、
個人情報により
掲載しません

栄光を讃える

(敬称略)

○横浜市中学校春季卓球大会

男子団体 第3位

○横浜市通信陸上競技大会

男子共通走高跳 第5位 2年 男子

男子共通400m走 第6位 3年 男子

男子2年100m走 第6位 2年 男子

○旭区中学校春季バドミントン大会

女子ダブルス 第3位 3年 女子

女子ダブルス 第3位 3年 女子

女子シングルス 第3位 2年 女子

○旭区中学校春季剣道大会

男子団体 第3位



6月の主な行事

開港記念日
体育祭
地区別生徒集会
3年進路説明会
歯科検診
眼科検診
6月テスト
耳鼻科検診
朝会（生徒会レク）
よこはま平和スピーチコンテスト旭区予選会

